

『駅の無人化と障害者の困りごと ～みんなが利用しやすい駅を目指して～』

日本では、少子高齢化の進展や人口減少等によって鉄道利用者の減少、輸送サービスの担い手不足となりつつあり、鉄道事業者はこれらの問題に対応するため新しい設備の導入や駅員の配置見直し等を進めています。そのため、駅員が常駐しない無人化した駅が増え、障害当事者が利用する際、「事前連絡を求められるようになった」「待たされるが多くなった」「鉄道以外の交通手段で移動しなければいけなくなった」などの困りごとを聞くようになりました。

そこで、今回の勉強会では、「無人駅のインターホン調査から見えた課題」についてお話いただくとともに、国土交通省から「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン」のご説明、障害当事者から駅の無人化によって生じる具体的な困りごとの生の声を直接伺いながら、今後について考えるきっかけとします。

配信期間 2023年3月14日(火)10:00～3月31日(金)17:00

(関交研YouTubeチャンネルにて配信)

申込方法 裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

申込期限 2023年3月8日(水)17:00まで

視聴方法 お申込頂いた方には配信開始日までに視聴用URLを電子メールでお送りします。

(※配信設定の関係から視聴用URLの配信日が遅れる場合があります。)

情報保障 手話通訳、要約筆記が画面内に表示されます。

プログラム		
開会挨拶	5分	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
趣旨説明	5分	テーマを取り上げた背景について 六條 友聡氏(社会福祉法人ぽぽんがぽん)
調査報告	15分	「無人駅のインターホン調査から見えた課題」 堀 篤子氏(アクセス関西ネットワーク)
情報提供	15分	「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドラインの概要について」 松尾 剛志氏(国土交通省近畿運輸局 鉄道部 監理課長)
座談会	65分	○コーディネーター:新田 保次氏(大阪大学 名誉教授) ○パネリスト:三原 ひろみ氏(アクセス関西ネットワーク) 松倉 由夏氏(アクセス関西ネットワーク) 吉川 ひとみ氏(アクセス関西ネットワーク) 堀 篤子氏(アクセス関西ネットワーク) ○コメンテーター:鈴木 千春氏(障害者の自立と完全参加を目指す 大阪連絡会議 運営委員) 六條 友聡氏(社会福祉法人ぽぽんがぽん)
105分		

共催:公益財団法人関西交通経済研究センター/公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援:国土交通省近畿運輸局(予定)

お問合せ先:公益財団法人関西交通経済研究センター(連絡先は裏面参照)

「第16回バリアフリー推進勉強会in関西」登壇者紹介

■講演者

○堀 篤子氏(アクセス関西ネットワーク)



アクセス関西ネットワーク運営委員。

障大連(障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議)交通部会担当。

○松尾 剛志氏(近畿運輸局 鉄道部 監理課長)



昭和61年4月 近畿運輸局大阪陸運支局。

平成31年4月 近畿運輸局奈良運輸支局企画輸送・監査部門首席運輸企画専門官

令和3年4月 近畿運輸局鉄道部監理課長

■パネリスト

○松倉 由夏氏(アクセス関西ネットワーク)



大正大学卒業後、NPO 法人ちゅうぶへ就職。在職4年目。

○三原 ひろみ氏(アクセス関西ネットワーク)



1973年三重県生まれ。先天性の視覚障害で、白内障から後天性緑内障に。

高校を卒業してから東京、岡山で音楽を専門に学び、ホームからの転落を期に大阪で歩行訓練などを受け、その後障害者の相談支援の職に就く。3年前に退職。

現在は主に交通・まちづくり問題や接遇研修など、いろいろな活動に取り組んでいる。

○吉川 ひとみ氏(アクセス関西ネットワーク)



奈良県在住。現在40歳。25歳頃、精神障害者になる。障害当事者として公共交通機関対象の研修や大阪万博などのユニバーサルデザイン検討会に参画している。また、障害者の就労支援における体力向上プログラムにも携わっている。

■コーディネーター

○新田 保次氏(大阪大学名誉教授)



1949 年岡山県生まれ。

交通計画、都市・地域計画を専門とし、「まちづくりのための交通戦略－パッケージアプローチの進め」、「理論から実践へ 日本の交通バリアフリー」や「参加型福祉の交通まちづくり」などの著書のほか、交通バリアフリーに関する講演などにも多数登壇されている。

■コメンテーター

○鈴木 千春氏 (障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 運営委員)

障害当事者(頸髄損傷/車いす利用)

移動等円滑化評価会議 近畿分科会委員

○六條 友聡氏 (社会福祉法人 ぽぽんがぽん)

障害当事者(先天性ミオパチによる四肢機能障害/電動車いす利用)

移動等円滑化評価会議 近畿分科会委員

●アクセス関西ネットワークとは…

公共交通機関や、まちづくりのバリアフリー化を広めることを目的として、2012年に設立しました。関西地区で活動する障害者団体および個人が賛同団体・賛同人となり、関西各地の課題を共有し、意見交換・共同取組を行っています。(アクセス関西ネットワーク Facebook より)